



発行所 愛知県山岳連盟
 発行人 安藤 武典
 編集人 中平等 新一
 名古屋市天白区中平3-1902
 TEL&FAX 052-802-8062

◇ 4月18日(土) 愛知岳連定時総会(県スポーツ会館) <http://www.geocities.co.jp/Athlete/1653/>

岳連親睦スキー大会・雪山ハイク
 ～ウイングヒルズ白鳥スキー場～



「山の日」の意義を高めよう

理事長 北村 憲彦

「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する」という意義から8月11日に「山の日」が制定され、平成28年から適用されます。これに先立って、平成27年度にも関連する行事や企画が催されます。

早速、平成27年3月28日～29日に東京で、全国「山の日」フォーラムが開催されます。主催は、全国「山の日」フォーラム実行委員会です。この委員会は「山の日」協議会、警察庁、消防庁、文部科学省、林野庁、国土交通官公庁、環境省、および東京都で構成されています。登山だけではなく、山に関わる多くの団体や人が一緒に「山」のことを考える催しです。

このような時期となりましたので、愛知県山岳連盟の我々も良く通う山や山の仲間のこと、そもそも大好きな「山」とどのようにかわるのかを、良く考える時間を持つことも必要だと思えます。

登山を楽しむ人は多くが山岳連盟などには加盟してない人たちです。推定で年間に600万人～1000万人の登山人口とも言われる方たちも、この「山の日」には関心を持つことでしょうか。山登りをしない人たちも、

例年ですと、富士山などのオーバーユースによる環境問題、トイレの問題、準備不足による道迷いや冬山で降雪のため、すぐには下山できないから救助要請という遭難(?)事故などで登山のことを知ります。これに加えて、昨年は、平成26年9月27日11時52分の御嶽山噴火事故はショッキングなニュースもありました。多くの犠牲者や未だ見つからない方たちのご冥福をお祈りします。このため、登山に対する日本全体の関心も高まっています。

我々が社会に対してできることは、まず自ら責任ある安全登山を実施することから始まるのではないのでしょうか。仲間とお互いの実力を考えて計画し、準備し、出かける前には保険に加入することや登山届を出すことなどが、自分と仲間の命を守る基本だと思えます。

余力をもって、それらのことを近くの会員以外の人にも伝えていければ、社会とも積極的につながることになると思います。「山の日」を年に1回のイベント日に終わらさないように、その意義を高めたいと思います。

愛知岳連親睦スキー大会・雪山ハイク

団体で犬山山岳会A初優勝

常任理事 関谷雅樹

43回目を数える恒例の親睦スキー大会は、昨年度と同じく一日目に雪山ハイク、二日目に競技という形で、2月14日から15日の日程で実施された。

第一日目は、前日から降り続く雪で雪山ハイクの会場となる旧イトシロシャローットスキー場は、新雪がきれいに降り積もるとい願ってでもない状況で大会当日を迎えることができた。

道路事情から参加者の到着が遅れ、12時30分に開会式を行い、宿舎である民宿「幸二」さんの前に作られた、大きなかまぐらの前で写真を撮影して8名の参加者は元気に雪山ハイクに出かけた。

雪山ハイクは17時前に宿舎に戻り、宿舎の部屋にて語らううちに18時となって夕食、一旦片付けた後20時から22時まで宿舎の食堂で懇親会を行い、銘酒やつまみをお供に夜遅くまで、参加役員と各会参加者入り交じっての楽しい語らいの時間を過ごすことがで

きた。

翌日はウイングヒルズ白鳥スキー場に会場を移しての競技となった。朝8時に受付を行い、9時05分に開会式を行った。しかし、山頂付近が強風のためゴンドラが動かず、その結果リフトが大混雑したため、なかなかコースまで上がれなかつた上に、昨年同様、降雪のため競技コースには新雪が降り積もり、まず競技参加者によるコース整備から始まった。その結果、9時30分スタートの予定であったが1時間遅れの10時半に競技スタ



団体・個人入賞のみなさん

ートとなった。雪質は、新雪ながらやや重い柔らかい雪で、全体的にタイムは伸びなかつたが、小雪のち曇というまずまずの天候で楽しく競技を行うことができた。

競技終了後、スキー場のホテルの食堂にて、恒例となったカレーライスバイキングののち、13時30分から閉会式となり、ボードで初参加ながら目玉商品を獲得する会員の方もみえ、楽しい大会になったと感じている。

結果は、団体は犬山山岳会が念願の初優勝を収め、大喜びで帰宅された。個人は高体連の関谷選手が4年連続の首位となった。

今回も主催者のミスで、参加者にご迷惑をおかけした場面もあった。その点についてはお詫び申し上げると共に、来年度も参加した会員の方々が、「楽しい」と感じてもらえる大会にしていきたいと考えている。また、今回の競技参加者は20名であり、これは主催者の考える最低限の人数である。各団体相互、または会員と役員がじっくり親睦・交流を図ることができ、貴重な場であるとも考えられるので、ぜひ来年度以後も行事が存続できるように、多くの会員

の参加をお願いしたい。

最後に、本行事に様々なご協力を頂いた民宿「幸二」さん、ウイングヒルズ白鳥スキー場、景品提供頂いた左記の協賛店の皆様方に、この場を借りて厚くお礼申し上げます。

【協賛】リノポイント、モンタニア、穂高、駅前アルプス、ウイングヒルズ白鳥スキー場、いば昇、アルパインツアーサービス

なお、成績は次のとおりです。

- 〔個人の部〕
優勝 関谷 雅樹(高体連A)
2位 窪田 大地(岡崎B)
3位 西澤 浩(犬山A)
- 〔団体の部〕
優勝 犬山山岳会A
2位 愛知県高体連
3位 岡崎山岳会B

スキー大会に参加して

犬山山岳会

西澤 浩

当日、犬山を5時40分出発したが、例年スタックする車が出る檜峠は、今年もスタックする車が続き、随分タイムロスするはめになったが8時30分には会場のウイングヒルズに到着できた。

公官庁の許認可申請・権利義務・事実証明の書類作成

西山行政書士事務所

〒460-0002

名古屋市中区丸の内三丁目21番21号

丸の内東桜ビル1004号

TEL: 052-961-6506 FAX: 052-961-6507

URL: <http://www.nygs-office.com/>facebook: <http://www.facebook.com/nygs.office>

うなぎ錦三丁目 い ぼ しょう

いぼしょう

〒460-0003 名古屋市中区錦三丁目13番22号

TEL <052> 951-1166 番

営業時間 午前 11:00~午後 2:30

午後 4:00~午後 8:00

定休日 日曜日・第二・第三月曜日

今年のスキー場周辺は例年の2倍くらいの積雪がある様に感じる。毎年スキー大会は好天に恵まれるが、今年は小雪舞う生憎の天気となった。ゴンドラも強風で動かず、その影響でリフトが行列となつて久々のリフト待ちが発生した。

貸切のレースコースも昨夜の積雪でコース整備しないと滑れない状態となっている。全員でインスベクションを兼ねてコース整備に入る。レース一本目は雪も柔らかく快適に飛ばすが、私は勢い余つてややコースを外して新雪に突っ込みタイムロス。昨年一本目は勢い余つて360回転を入れてしまったが、今年もやつてしまった。二本目はコースも少々荒れ気味、慎重さも必要で一本目は飛ばせない。私個人としては4回目の出場にして初入賞、個人の部第3位でチーム優勝に貢献できたのは嬉しい。犬山の第4位と高体連の第5位の合計タイム差はなんと0.01秒差、この0.01秒が優勝の分け目となったのは印象的であった。

今年は参加者が20名と少なかった割に、ボードの参加者が何名かみえた。コースの前半は斜度があまり問題ないが、

後半は斜度が少なくスケイティングやストックワークのないボードには不利である。できれば中盤でスピードが出るようなコース設定にして頂いて、後半は中盤のスピードで乗り切るようにして、ボードでも不利にならないような配慮も今後は期待したい。

また、昨年から参加者の増加を担って前日に雪山ハイキングも企画されており、都合が付けばこちらにも参加してみたい。今年は運営にぎりぎりの参加人員とのこと、参加者の人員が少ないことで全員に副賞がもらえたことは良かったが、やはり参加人員はもう少し多い方が張合いも出るかと思われ、来年は他のチームもたくさん参加して頂けることを期待しています。

第36回自然観察会

日時 4月29日(祝日) 9時

JR中央本線・木曾福島駅前集合

場所 城山(長野県木曾町)

木曾福島駅前から歩きます

城山自然観察倶楽部に同行

会費 千円(ガイドブック他)

締切 4月20日(定員20名)

申込み・問合せ 鈴木行薫

090・1271・1156

印象に残った私の登山

1

春の北ア奥穂高岳南稜

豊橋山岳会

中山 秀樹

もう40年近く登山をしているが、一般的な雪山や岩のルートに登ってきたので、自慢できるとは思えない。でも、

長く登山をしていて心に残る場所やルートがいくつか持っていた。笠ヶ岳の秩父平から見る朝の槍穂連山や北ア南岳西尾根の雪稜から見る夕日の素晴らしさは、写真では味わえない。

春の残雪を踏んで登る奥穂高岳南稜は、私がお勧めするルートだ。私自身20年くらい前から数年毎にパートナーを変えて4、5回登っている。

GWの岳沢では、他のルートもあるが南稜を登りたいと思う。河童橋から望む穂高の吊尾根のほぼ中央を奥穂高岳に向かつて登って行くルートだ。

このルートはウエストンが百年以上も前に嘉門次と初登した。彼らは8月に登っているが、ブッシュのルンゼが雪

のスロープで、また、這松がまだ雪で隠れている春、快適に登ることが出来る。

山岳会の会報を開くと、以前登った時の気持ちがよく覚えてきた。

(平成17年5月の記録から)

何度でも登りたいルートがあるとすれば、このルートもその1つであろう。日本第三の高峰、奥穂高岳の山頂までほんの5分の所に登りつく。

雪壁から雪稜、トリコニーと呼ばれる岩稜、さらに山頂へ続く雪稜と、変化に富んだルート。岳沢から上高地、はるか

に遠く乗鞍岳。快晴無風。これ以上の条件があるだろうか。登るにつれて広がっていく足下の景色が乗鞍岳まで伸びていく。

「感動だよ」とRさん。

「そう。僕にはここは何度でも登りたいルートの一つだよ」トリコニーの辺り、登れる所は限られる。誰もが同じスタンスを、同じホールドを使う。私も、そしてウエストンも使ったであろうホールドがそこにある。

安心して選べる三河地区のプロショップ

JR刈谷駅前

穂高

〒448 刈谷市桜町1-13
TEL0566(23)8611
定休日/火曜日
営業時間/10:00~20:00

登山用品豊富!

ビギナーからエキスパートまで



CLIMBING PARK 東三河初のクライミング施設

クライム

住所: 愛知県豊橋市関屋町138番地 ☎0532-26-3737

MONTANA

モンタニア

住所: 愛知県豊橋市萱町5番地 ☎0532-55-0125 <http://www.montania.jp>